

今日のキーワード FOMC「議事要旨」(米国)

米国の連邦準備制度理事会（FRB）は、連邦公開市場委員会（FOMC）の約3週間後に「議事要旨」を公表しています。「議事要旨」では、毎会合でのFOMC声明や、年4回の会合でのFOMCメンバーの経済見通しおよびFRB議長の記者会見と同様、今後の金融政策を見通す上で重要な手掛かりが示されることが多く、市場関係者の注目する材料になっています。

ポイント1

政策金利据え置きはぎりぎりの判断

FOMC全体では慎重な姿勢が確認された

- 2016年9月20日、21日開催のFOMCでは、政策金利の据え置きが決定されました。そしてその会合の「議事要旨」が2016年10月12日に公表されました。今回の「議事要旨」では、政策金利の据え置きを支持したFOMCメンバーのうち何人かは「ぎりぎりの判断だった」と述べており、FOMC全体では利上げに対する慎重な姿勢が確認されました。

ポイント2

近いうちの利上げは適切

ただ経済指標待ちとの結論に

- 労働市場のたるみ（slack）の程度については意見が分かれたものの、FOMCメンバーは、利上げの条件が整いつつあるという点でおおむね意見が一致していることが示されました。
- ただ大半のメンバーは、雇用と物価が目標に近づいているという更なる証拠を待つべきと述べ、これが据え置き判断に影響したと推測されます。
- それでもなお複数のメンバーは、経済活動がFOMCの期待通りに進展すれば、比較的近いうちの利上げが適切であるとの見解を示しました。

FOMC等の日程

日程		内容
2016年	11月1日、2日	FOMC
	11月8日	米大統領選挙
	12月13日、14日	FOMCメンバーの経済見通し発表 イエレン議長の記者会見開催
2017年	1月31日、2月1日	FOMC
	3月14日、15日	FOMCメンバーの経済見通し発表 イエレン議長の記者会見開催

（出所）各種資料を基に三井住友アセットマネジメント作成

今後の展開

利上げは12月のFOMCで決定される可能性が高い

- 今回の「議事要旨」は、ほぼ想定された通りの内容で、特に目新しい材料はありませんでした。そのため「議事要旨」が公表された直後の市場の反応も、比較的落ち着いたものとなりました。
- FOMCメンバーの間では、年内の利上げに向けて合意が形成されつつあるように思われます。米大統領選挙が11月8日に行われるため、利上げは12月のFOMCで決定される可能性が高いと見られます。

ここも チェック!

2016年10月11日 引き続き堅調な米国の雇用統計（2016年9月）

2016年 9月23日 米国の金融政策（2016年9月）政策金利は据え置き：景気・物価動向を見極め

■ 当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■ 当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■ 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■ 当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■ 当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■ 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■ 当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。